

新型コロナウイルス感染症への各社対応状況のとりまとめ（3月4日現在）

一般社団法人 日本マーケティング・リサーチ協会

直近の正会員社各社の対応状況についてまとめましたので、ご参考いただけますと幸いです。

■社内・社員への対応

- ・基本的な感染症対策として、手洗い、うがい、咳エチケット、マスク着用を励行する。
- ・日常の健康管理として、十分な睡眠、適度な運動やバランスのとれた食事を摂取する。
- ・家庭での健康観察を徹底し、発熱・体調不良時は無理をせず自宅で休養し、状態によっては医療機関を受診する。自分自身で判断のつかない場合は、会社に連絡のうえ指示を仰ぐ。
- ・時差出勤の推奨、在宅勤務の推奨。（「週〇回以内」などは各社様々）
- ・社内（在宅勤務者等）および社外との会議などは、状況に応じてWEB会議ツールの使用を推奨。
- ・多人数が集う会合等は、延期を含め開催の是非を検討する。（具体的な人数については各社様々）
- ・外部研修等への参加を原則中止。自社開催のセミナー・講演会等、人が集まるイベントは原則延期又は中止とする。
- ・新幹線、飛行機等を使った出張は原則禁止とする（国内外問わず）。

<対面式調査(FGI/DI、CLT)についての対応>

■調査協力者について

- ・調査協力者募集時に、以下を確認し、該当する方は対象から除外する。
 - ・本人／同居者において、調査開始の〇ヶ月前～当日までに海外への渡航歴がある場合（「〇ヶ月前」などは各社様々）
 - ・直近〇週間で、発熱（37.5度以上）や咳などの風邪の症状が見られる場合（「直近〇週間」などは各社様々）
- ・当日の受付で、本人の体調を確認し、不調が認められる際は調査への参加を控えていただく。（体温測定をお願いする場合もあり）
- ・受付にアルコール消毒液を設置し、受付時の手指消毒をお願いする。
- ・調査中のマスク着用を認める。

■調査スタッフについて

- ・当日の調査運営にかかわるスタッフは、マスクを着用して対応する。
- ・定性調査のインタビュアーも、原則としてマスク着用で対応させていただく。

■調査運営について

- ・調査協力者が入れ替わるごとに、調査会場の備品はアルコールなどを用いて清掃する。
- ・試飲・試食を伴う調査は原則中止。実施する場合には、原則使い捨ての食器を利用する。
- ・準備や給仕にあたるスタッフは、オペレーション時の手指消毒、手袋の着用を徹底する。

■お客様の調査見学について

- ・体調がすぐれない場合のご来場を控えていただく。
- ・会場入室時の手指消毒のご協力をお願いする。

■調査実施におけるリスクについて

- ・平常時より、調査への協力率の低下、直前キャンセル発生率が高まる可能性がある。
- ・マスク着用により、調査対象者の表情が十分に確認できない可能性が想定される。
- ・調査テーマによっては、何らかのバイアスがかかる可能性がある。
- ・万が一、事業所内で新型コロナウイルス感染者が発生した場合など、緊急に一部または全部の調査の中止をお願いする可能性がある。
- ・今後の厚生労働省をはじめとする政府機関の情報や指針、社会情勢の変化により、対応を変更させていただく場合がある。

【経済産業省からの周知依頼】

令和2年2月25日に開催された新型コロナウイルス感染症対策本部において、「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」が示されたことを受け、感染拡大防止の観点から、経済産業省より産業界への周知依頼

○「新型コロナウイルス感染症対策の基本方針」を受け、経済産業省より以下3点について御協力をお願いいたします。

- (1) 患者・感染者との接触機会を減らす観点から、企業に対して発熱等の風邪症状が見られる職員等への休暇取得を勧奨すること。
- (2) 従業員が人混みを避けること、通勤電車等の満員を緩和することを目的に、時差通勤・テレワークを積極的に推進すること。
- (3) イベント等を主催する際には、一律の自粛要請は行わないものの、感染の広がり、会場の状況等を踏まえ、開催の必要性を改めて検討すること。

以上